

2004/08/05

建マネ研究委員会事務局

第1回「建設産業の市民化」に関する意見交換・講演会（室蘭地区）

日時 平成16年8月5日（木）14:00~17:00

場所 室蘭市入江町1-74 室蘭建設会館（室蘭建設業協会）

次第

○意見交換会（14:00~15:30）

出席者 室蘭経営研究会 6名（笹山会長、高橋副会長、伊藤副会長、成田事務局長、  
小林総務委員長、手塚経営委員長）

建マネ研究委員会 6名（新山顧問、伊藤委員長、高野幹事長、倉内幹事、  
高宮幹事、安味事務局長）

- ・「札幌宣言」について . . . . . 建マネ研究委員会
- ・市民化に向けた地元の取組み、事例等について . . . . . 室蘭経営研究会
- ・意見交換

○講演会（15:30~17:00）

（参加者 室蘭経営研究会会員を中心に20~30名程度）1テーマ20分程度

- ・建設産業の市民化「札幌宣言」の推進について  
. . . . . 建設マネジメント研究委員会 委員長 伊藤昌勝
- ・「ISO9001 試行から活用段階へ」  
. . . . . 北海道開発局 工事評価管理官 倉内公嘉
- ・「建設業における ISO9001 認証取得の動向」  
. . . . . 北海道建設新聞第一報道部 記者 荒木正芳
- ・質疑応答



# 市民化に向けた地元の取り組み、事例等について

室蘭経営研究会

1. 生態学的混播法による自然林の再生を地元の子供達と実施

第1回 平成16年 7月27日(火) 鵠川町にて開催

\*資料添付 ~ 5枚

2. 『フォーラム』を開催し地域興しやそれに伴う社会資本整備を考える機会の提供

管内の市町村を対象に胆振年2回、日高年2回程度開催予定

室蘭経営研究会で胆振地区担当

プログレス日高(日高地区建設二世会)で日高地区担当

\*資料添付 ~ <sup>3</sup>6枚



## 「全国建設青年の日」

室蘭経営研究会は「全国建設青年の日」にちなんだ事業といたしまして、国土交通省道路局のボランティア・サポート・プログラム（VSP）を適用いただき、日高自動車道鷓川インターチェンジに生態学的混播法による緑化及び清掃を地元の子供達と行う予定です。

今年度の取り組みとしまして、緑化予定地の清掃及び草刈、緑化工程のうち苫小牧河川事務所及び苫小牧道路事務所から、昨年採取したタネから発芽した幼苗を提供いただき、幼苗を発泡スチロール箱からポットに移し替えるポット床替え作業及び、タネ播きを地元鷓川町の小学生と行います。

来年度以降は、ポットに移し替え成長した苗を地元の子供達と共に、日高自動車道鷓川インターチェンジに生態学的混播法による緑化を行う予定です。

実施日 平成16年7月27日（「全国建設青年の日」7/28 前日）  
場 所 日高自動車道鷓川インターチェンジ及び苫小牧河川事務所鷓川分駐所構内  
時 間 09時00分から12時00分（予定）  
人 数 大人 25名 子供 50名（予定）  
講 師 北海道工業大学 環境デザイン学科 岡村俊邦教授、北海道開発局 吉井厚志地方整備課長  
指 導 (株)森林環境リアライズ 堀東代表取締役（緑化指導）  
後 援 北海道開発局室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所、苫小牧河川事務所  
鷓川町教育委員会、鷓川・沙流川かわ塾

09：00 鷓川町四季の館集合、点呼バス移動班 鷓川町児童館より徒歩移動班

09：10 苫小牧河川事務所鷓川分駐所構内

- ・ 開会式
- ・ 生態学的混播法による自然林再生について説明
- ・ エゾニワトコタネ播き体験
- ・ 発芽した苗をポットに移す、ポット床替え作業体験

11：10 休憩、バス移動

11：20 鷓川インターチェンジ

- ・ 清掃
- ・ 草刈

12：00 バス移動、閉会式、解散

### 雨天の場合

09：00 鷓川町四季の館集合、点呼バス移動

09：10 苫小牧河川事務所鷓川分駐所構内車両庫

- ・ 生態学的混播法による自然林再生について説明
- ・ エゾニワトコタネ播き体験
- ・ 発芽した苗をポットに移す、ポット床替え作業体験

11：10 休憩、バス移動解散

雨天の場合、鷓川インターチェンジ内、清掃及び草刈は後日、室蘭経営研究会が行う。



## 室蘭経営研究会について

室蘭経営研究会は、昭和54年に30才から50才までの若手経営者が、将来の技術的發展を図ると同時に、相互の連絡を密にして親睦を深め、会員の資質向上を期することを目的として発足いたしました。

「よく学び、よく遊べ」を標榜し、講演会や研修会を開催したり、スポーツに汗を流したり、時には視野を広めるべく国内外の研修を行う等、研鑽に努めております。

また、会員はそれぞれの地域においても、自社の業務のみならず、いろいろな形で町づくりや地域イベントなどに参画し、活動しております。

会 長 笹山 智市

### ボランティア・サポート・プログラム (Volunteer Support Program)

ボランティア・サポート・プログラムとは、道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを、形あるものにしようと考え出されたのが「ボランティア・サポート・プログラム」です。

実施団体は、実施区域・内容を決めた後、道路管理者・協力者（市町村）との3者協定を結び、文書で決めた内容に基づき清掃・植樹管理などを行う。

国土交通省道路局国道・防災課

<http://www.mlit.go.jp/road/road/vsp/index.html>

### 「全国建設青年の日」

全国建設青年会議において7月28日を「全国建設青年の日」とし、各地区において事業の冠を「全国建設青年の日」とし実施するもので、北海道建青会傘下の室蘭経営研究会は7月27日に別記事業を実施する。



# 「ボランティア・サポート・プログラム」申込書

平成 16年 6月 日

国土交通省北海道開発局室蘭建設部苫小牧道路事務所長 様

ボランティア・サポート・プログラムの「実施団体」として、次のとおり認定を申し込みます。

団体名	フリガナ どんふいん ドルフィン
代表者 氏名	フリガナ さきやまちいち 笹山 智市
住所	フリガナ だてしもとまち71-21 伊達市元町71-21
電話番号	(昼間) 0142-23-2727 (夜間) 0142-23-2727
FAX番号	0142-23-7424
Emailアドレス	lv16c1@hokkoh.co.jp

活動の 希望	場所	日高自動車道鶴川インターチェンジ付近(別紙図面参照)
	第一希望	日高自動車道鶴川インターチェンジ付近(別紙図面参照)
	第二希望	日高自動車道
	第三希望	日高自動車道
	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 清掃 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化         (該当するものを○で囲む)

活動の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否         (該当するものを○で囲む)
-------	--







## 「実施団体」団体名簿

(◎ 代表者、○担当者)

	氏 名	住 所	年 齢
1◎	笹山 智市	伊達市元町71-21	48
2	伊藤 豊	室蘭市港北町3丁目3番15号	48
3	九笹 雄司	静内郡静内町御園32番地	34
4○	小林 史明	沙流郡平取町荷葉40番地6	45
5	鈴木 英毅	勇払郡厚真町字厚和68番地	39
6	高橋 哲也	虻田郡洞爺村字洞爺町37番地	44
7	武田 大助	静内郡静内町神森256番地8	49
8	出口 直冲	静内郡静内町本町3丁目3番5号	31
9	手塚 純一	浦河郡浦河町字西舎195	40
10	中島 渡	浦河郡浦河町荻伏町492番地	49
11	永井 武憲	伊達市山下町178	35
12	成田 才仁	苫小牧市新明町4丁目21番6号	41
13	萩 宰	室蘭市入江町1番地63	35
14	福田 隆一	勇払郡鷗川町美幸町4-62	47
15	幌村 司	三石郡三石町字蓬栄126番地	50
16	三浦 広志	室蘭市本町2丁目6-8	48
17	矢部 道晃	苫小牧市栄町2丁目1-27	36
18	吉田 敏史	浦河郡浦河町東町ちのみ3丁目2-34	41
19	小金澤 昇平	勇払郡鷗川町美幸町1丁目85番1	31
20	戸澤 廣	室蘭市中島町3丁目8番12号	44
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			



# 川フォーラム(仮称)設立 企画書

## 主 旨 (概要)

地域に対する郷土愛をふかめる取り組みを企画。

まちの自慢や大好きなところを語り合い、地域を大切に思う気持ちを再発見する。

暮らしと調和した「自然」を語り合うことで、地域に対する認識を深める。

花や鳥、山や川、地域にある多くの財産と、そこに暮らす私たち住民がどのように活用しているか。そしてその気持ちを広く共有する。

多くの「自然」の中からテーマを決め、一定の地域で活動を推進。

地域の数多くの自然財産の中から、地域の特色を検討。

対象地域は、伊達及びその周辺とし、川をクローズアップ

伊達市及び近郊には、長流川を始め大小様々の川がある。

川に対する地域の「声」や「風景」・「思い出」・「活用方法」等を広く集める。

様々な手法を検討。広く声を集める。

後援会・フォーラムなどの参加型イベント写真展・地域カタログ製作などを計画。

参加型イベントは、気軽に参加できるものを企画。

製作物として、地域 PR となるものを製作予定。

## 対象地域

伊達市 及びその周辺

参加者については、地域外の方々も含む。

## アドバイザー

室蘭工業大学 田村 教授

## 発起人

室蘭経営研究会

伊達地域の青年団体

地域で活動する自然愛好団体



## 対 象

参加型            一般公募    フォーラム・講演会  
スタッフ型        一般公募    写真展運営・フィールドウォッチング等

## 主 催

実行委員会形式  
室蘭経営研究会・地域の有志・サークル代表等

## 伊達市の川クローズアップ

長流川……大滝・壮瞥・伊達を貫いて流れる地域一番の大きな川。

アヤメ川……市街地から小川沿いに散策路がつづく。

谷藤川……上流の渓谷がすばらしい。

牛舎川……雪解け水の水音がダイナミック。

気門別川……桜が有名。



## 概 要 (案)

### アンケート

地域全体からの声を収集  
意見・体験談等の文を中心に集める。

### 講演会の開催

川の活用事例を紹介  
例・・・「古来 川は交通の要だった」  
「近郊の川活用事例」  
「外国の川・日本の川」  
「ヨーロッパの運河交通」  
「川に育む自然・生命」  
「近郊の川の自然・花・鳥」  
「川の水 活用・水質等」

### フォーラムの開催

集って川を中心としてまちの良さを語る「川トーク」  
テーマ 昔の川・今の川  
川に咲く花・野鳥

### フィールドウォチング

近郊の川を歩いて自然観察  
源流アタック隊(川の源流を訪ねる)

### 写真展

公募写真による写真展  
地域で活動する写真家による企画展

### 地域カタログ「川のある暮らし」

上記の各企画を雑誌風にまとめた小冊子



## フォーラムタイトル

### 『ふるさとづくり フォーラム』

・・・あなたはこの町に一生住めますか？

#### 開催主旨

地域（郡部）で暮らす住民にとって、必要な公共事業も含めた”まちづくり、ふるさとづくり”は将来、地域に骨をうずめる為の絶対的な必須条件となるはずであります。昨<sup>今</sup>年の公共事業パッシングの影響で住民にとって必要な社会資本整備までもが”要らない”と言われがちな、社会現象となっております。

更には、一般住民の方が「〇〇が欲しい、必要だ」という意見さえもなかなか言えない風潮が現在の我が国にまん延している様な印象も受けます。

そこで、管内の各町毎に「ふるさとづくりフォーラム」を開催して、公共事業も含めた「まちづくり」「ふるさとづくり」を考える機会になればと思い計画、立案致しました。

参加して頂いた一般住民の方達に、自分達の住む町の将来を考えるきっかけになれば幸いです。事前アンケートを実施し、各方面からの多様な意見を出来る限り、議論誘導をしない形で集計しフォーラムへ反映させて行く様、実行していきたいと考えております。



## 開催形式

事前アンケート（別紙）結果の集計を、フォーラム参加者へ配布した上で  
基調講演（40分）、パネルディスカッション（35分）、参加者からの質疑応答（10分）  
の流れで進行する。（全体で2時間程度）

\*基調講演の講師の選定をお願いする。

\*パネルディスカッションのコーディネーターの選定をお願いする。

## 開催日時、場所（案）

10月中～下旬 木曜日 18:00～20:00

静内町公民館

17:00 受付開始

17:30 開場

18:00 開会式

18:10 基調講演

↓

18:50

18:55 パネルディスカッション

↓

19:30 質疑応答

↓

19:40

19:45 アンケート抽選会（お米券10kg×10名）

20:00 閉会

『ふるさとづくり フォーラム』・・・あなたはこの町に一生住めますか？

わが町アンケート

問1 あなたの職業は、何ですか？

1. 公務員 2. 会社員 3. 自営業（農業、漁業、林業、建設業、その他）  
4. 主婦 5. フリーター 6. その他（ ）

問2 あなたの住んでいる町（静内町）は、何で成り立っている町だと思いますか？

1. 農業 2. 漁業 3. 林業 4. 建設業  
5. サービス業（商・飲食） 6. 観光  
7. その他（ ）

問3 問2の回答に対して現状をどのように思いますか？

1. うまくいっている 2. うまくしていない  
3. その他（ ）

問4 具体的にどうしてそのように感じますか？

問3の1を選んだ方

- (1) 行政に守られている (2) 需要が多い  
(3) 収益性が高い (4) その他（ ）

問3の2を選んだ方

- (1) 安定性がない (2) 仕事が減少している  
(3) 収益性が低い (4) その他（ ）

問3の3を選んだ方

具体的にお答え下さい

（ ）

問5 前記問に対して発展及び改善するためには、何が必要と考えますか？

1. 行政の支援 2. 人材及び教育の場 3. 市場の拡大 4. 交通アクセスの改善等  
5. その他（ ）

問6 あなたの町（静内町）の自慢できるところは、なんですか？

1. 景観 (具体例： ) 2. 人 ( )  
3. イベント等 ( ) 4. 環境 ( )  
5. 歴史 ( ) 6. 食べ物 ( )  
7. その他 ( )

問7 あなたは、この町（静内町）に満足していますか？

1. 大変満足している 2. まあまあ満足している 3. 少々不満である  
4. 大変不満である 5. どちらでもない

満足していると答えた方は、問8にお答え下さい。

不満と答えた方は、問9～問10までお答え下さい。

問8 あなたの町（静内町）に満足しているところは、なんですか？

1. 景観 2. 行政 3. 環境 4. 食 5. 何もかも全て  
6. その他（ ）





- 問22 あなたは、災害復旧に必要なだと思うものはなんですか？  
1. 行政の対応    2. 災害復旧の担い手    3. 一個人の努力    4. 善意による義援金  
5. その他 ( )
- 問23 あなたは、災害復旧で思いつくのはなんですか？  
1. テレビ等による報道    2. 行政のパトロールカー    3. 建設機械  
4. その他 ( )
- 問24 あなたは、災害復旧と公共事業は結びつきますか？  
1. 結びつく    2. 結びつかない    3. どちらでもない  
4. その他 ( )
- 問25 あなたの町（静内町）の公共工事のイメージは？  
1. 良 い    2. 悪 い    3. 別に何も思わない  
4. その他 ( )
- 問26 あなたの町（静内町）の公共施設は、充実していますか？  
1. 全て充実している    2. 充実していない    3. どちらでもない  
4. その他 ( )
- 問27 あなたが今後、必要と思われる公共施設はなんですか？    具体的にお書き下さい。
- 問28 あなたはこの町（静内町）にこれからも住んでいたいと思いますか？  
1. 大変よいところなので一生住んでいたい  
2. 若い内は住みたいが年をとったら違うところで住みたい  
3. こんな町になんか住みたくない  
4. その他 ( )
- 問29 これからも住むためには何が必要ですか？    具体的にお書き下さい。  
具体的にお書き下さい。
- 問30 あなたは、プログレス日高を知っていますか？  
1. 知っている    2. 知らない
- 問31 最後にプログレス日高を知っているという方にお聞きします。  
あなたは、何でプログレス日高を知りましたか？  
1. 日高マップ    2. 道道網の策定    3. まるっこ体験ファーム  
4. なぜ公共事業が必要か（小冊子）    5. マスコミ及びメディア  
6. その他 ( )

最後までアンケートにお答えいただき、ご協力ありがとうございました。